

京都府立医科大学附属病院で神経・筋超音波検査を受けられた
患者様・ご家族、ボランティアの皆様へ

神経・筋超音波検査を用いた神経筋疾患の診断技術の確立 に関する研究へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、神経・筋超音波検査による神経筋疾患の診断技術の確立に関する研究を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で神経・筋超音波検査を受けられた患者様、また被験者ボランティアにご協力いただいた方の超音波検査所見、診療録(カルテ)情報を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

これまで神経筋疾患の診断には、臨床所見に加え、神経伝導検査・針筋電図という検査が大きな役割を果たしてきました。一方で、ここ10年ほどで、超音波検査は目覚ましい技術の発展があり、より簡易に、より高解像度の画像が得られるようになってきています。これに伴い、末梢神経、神経根、筋の観察がより詳細に行えるようになってきました。
本研究の目的は、神経・筋の超音波検査が、神経筋疾患の診断に有用であることを示すことです。

研究の方法

・対象となる患者様、被験者ボランティアの方々について

2011年4月1日から**2029年3月31日**までの間に、京都府立医科大学神経内科で神経・筋超音波検査を受けられた患者様、被験者ボランティアの方が対象となります。

・方法について

末梢神経、神経根、筋疾患を疑われた患者様、また、神経筋疾患を有しない被験者ボランティアの方に対し、神経、または筋超音波検査を行います。被験者ボランティアの方には神経伝導検査も施行します。その画像データを疾患ごとに解析し、被験者ボランティアの方から得られた正常データと比較します。また、電子カルテ上から得られる臨床・検査データも合わせて情報を収集し解析します。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が学会・医学研究論文として公表される場合でも個人が特定されることはありません。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

研究実施責任者

京都府立医科大学 大学院医学研究科 講師 能登 祐一

連絡先

京都府立医科大学 大学院医学研究科 講師 能登 祐一

電話:075-251-5793

